小田原市「ゼロカーボン・デジタルタウン」創造プロジェクト











背景

小田原市ではこれからの未来を見据え、「ゼロカーボン」と「デジタル」の分野に力を入れて取り組んでいます!

ゼロカーボン

東日本大震災以降、再生可能エネルギーを活かした持続可能な まちづくりを目指し、全国に先駆けた先進的な取組を実施

- ▶VPP(仮想発電所)リソース導入「H29]
- ▶脱炭素型地域交通モデル構築「R1~R4]
- ▶地域マイクログリッド構築「R2~R3]
- ▶ブロックチェーン技術を活用した行動変容と地域経済好循環「R3]





シェアリングEV

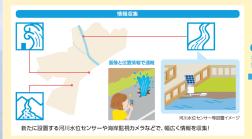
マイクログリッド対応型蓄電池

デジタル

市民の生活の質の向上と地域課題の解決のため、 まちづくりの推進エンジンとしてデジタルまちづくりを推進

- ▶スーパーシティ構想へのエントリー「R3]
- ▶デジタル田園都市国家構想推進交付金(TYPE1)の活用「R4~]
- ▶地域課題解決のためのスマートシティ推進事業「R4~]

など







ワイヤレスセンサー等を用いた住民参加型警戒・避難システム

MaaSアプリとデータ連携基盤の整備

事業目的

- ①これまでに蓄積した成果を体現する場
- ②全国に先駆けた取組やサービスを実証する場

最新のデジタル技術を活用しながら、脱炭素社会と便利で豊かな暮らし

未来に向けた新しい生活モデル創りに挑戦します!!

の両立を実現する持続可能なモデルタウンを公民連携で創造し、

小田原市 「ゼロカーボン・デジタルタウン」創造プロジェクト











事業内容

小田原少年院跡地(約2.4ha)を候補地に 「ゼロカーボン」と「豊かな暮らし」との両立を デジタル技術によって実現する新しい街 「ゼロカーボン・デジタルタウン」を創造

- ▶街で消費するエネルギーは全てクリーンエネルギー
- ▶建物は全て脱炭素型建築物(ZEB/ZEH)
- ▶EVを軸にした環境配慮型交通の徹底
- ▶都市OSを構築し、データを活用した新サービスの提供
- ▶最先端技術の実証フィールド

<モデルタウンイメージ図>

得られる成果

- ▶脱炭素時代の新たな生活スタイルの確立・提案
- ▶本取組で培った技術やノウハウを全国に横展開し、

日本のカーボンニュートラルの実現に貢献

企業様へのお願いと得られるメリット

- ①企業版ふるさと納税によるご寄附 ⇒ 社会貢献とPR
- ②先進的な知見による支援・協力 ⇒ 実証機会の獲得
- ③実際の事業者としての参画 ⇒ ビジネスチャンス